大人の地域再発見誌

こうのす

vol.9

無料！
Take Free!

花ものがたり

Contents

2 特集「花ものがたり」
6 こうのす人　伊藤恵さん
7 おすすめイベント
8 私の好きなこうのすの風景
10 こうのす歴史散歩
10 編集部より

題字執筆　第48代 勝願寺住職 藤田得三氏

表紙写真　市民農園（寺谷736）隣 花のオアシスのひまわり

花でつながる暮らしと歴史たち

花ものがたり

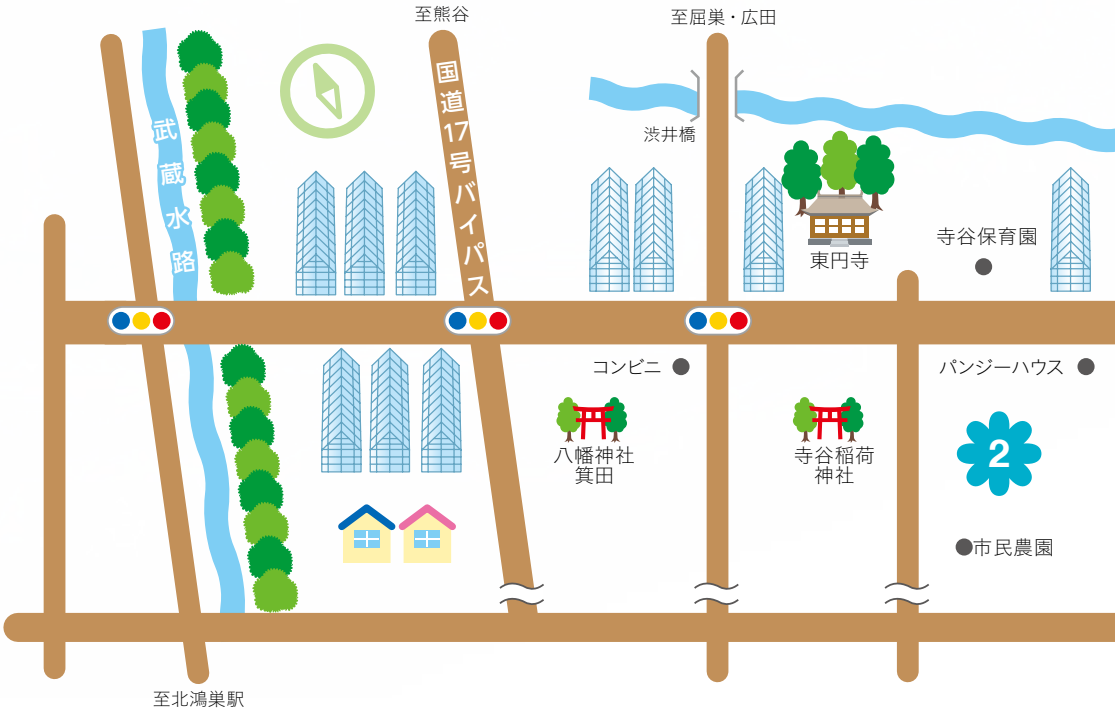
since 1948

鴻巣市は埼玉県だけでなく、東日本有数の花の生産地として古くから知られています。花は今日に至るまでにどのように生産が伸びてきたのか、そして私たちの暮らしにどのような影響を与えてきたのでしょうか。

フラワー通り

Flower-dori

平成４年、一般公募により「フラワー通り」と命名されました。沿道には花市場や花卉生産者のビニールハウス、花関連の施設があります。地域の方々によって大切にされている神社仏閣の存在も見逃せません。



2 花のオアシス

春はチューリップ、秋にはマリーゴールドが咲き誇る花の公園。９月下旬に見られる草丈約１ｍのひまわり畑も必見です。

3 時計台

周囲の人々が「時計台」と呼んでいる場所。鴻巣市花卉園芸組合の方々によって定期的に手入れされています。

4 日だまりパーク

案内板には利用者へのメッセージが記されています。「日溜りには人が集まり　散歩の途中でちょっと　一休みしながら花を眺めて癒される　そんな空間になればいいですね」